

## 参考資料

### 広報しろい 掲載記事

第5期高齢者福祉計画・白井市介護保険事業計画策定事業	P. 1～P. 3
白井市環境基本計画策定事業	P. 4～P. 7
美しい景観形成推進事業	P. 8
白井市除染実施計画策定事業	P. 9～P. 10
(仮称)市民参加・協働のまちづくりプラン策定事業)	P. 11～P. 12
白井市地域福祉計画策定事業	P. 13～P. 15
(仮称)白井市産業振興条例策定事業	P. 16～P. 18
(仮称)白井市暴力団排除条例策定事業	P. 19



# 第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計策定に係るアンケート結果

市では現在、第5期（平成24年度～26年度）市高齢者福祉計画・介護保険事業計策定に取り組んでいますが、策定に先立ち今年1月、2月に実施したアンケート調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

アンケートの対象者および回答状況などの結果は右表のとおりです。

市では今回のアンケート調査結果を次期計策定に生かすとともに、介護予防の充実を図り、一人でも多くの市民が介護予防の重要性を理解し、健康で充実した生活を送ることができるように努めています（報告書は市ホームページまたは高齢者福祉課介護保険窓口で閲覧できます）。

図：高齢者福祉課介護保険班☎（497）3473

## 【調査1】

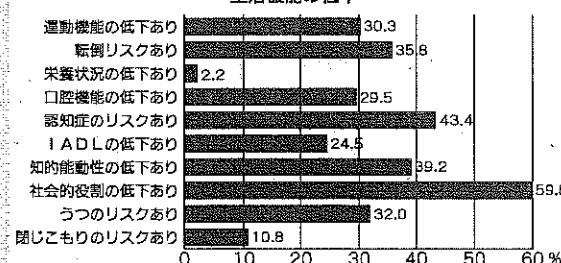
国から示された「日常生活圏域ニーズ調査」に本市独自の設問を加えたアンケート表を作成し、市民の健康状態や介護保険に対する意向などを把握するほか、生活機能の現状を分析を行いました。高齢者の日常生活における生活機能の低下の状況が分かります。回答者の生活機能の現状分析の結果、「二次予防対象者（やや機能低下のみられる高齢者）」は要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の内、35.4%の人が該当することが分かりました。（下表参照）。

回答者とその割合

区分	一般高齢者	二次予防対象者	計
回答数	1,018人	557人	1,575人
割合	64.6%	35.4%	100%

結果は下表のとおりで、「社会的役割の低下あり」が59.8%と最も高く、リスクや機能の低下が顕著な項目については、予防重視の観点からも優先的・重点的に事業の実施を行っていく必要があります。

生活機能の低下

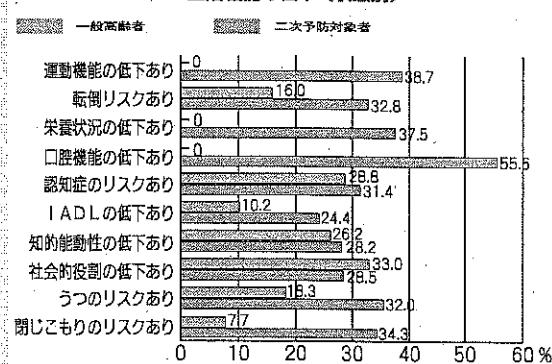


区分	対象者	調査区分と対象者		
		発行数	回収数	有効回収率
調査1	①認定無65以上 ②要支援・要介護1・2	①1,984 ② 825 計2,809	2,163	77.0%
調査2	施設に入所していない 要介護3・4・5認定者	371	253	68.2%
調査3	若年（40～64歳）	1,985	1,225	61.7%

※調査1の①・調査3の対象は無作為抽出です。

調査1の②・調査2の対象は該当者全員です。

生活機能の低下（状態別）



IADL（手段的日常生活動作）：日常生活を送る上で必要な動作のうち、複雑で高度な動作（買い物、調理、バスや電車を使った外出など）の能力を判定します。  
知的能力性：積極的な知的活動能力（創造的能力、探求心、好奇心を高め、余暇活動を充実させるなど）を判定します。  
社会的役割：地域の中での役割（いろいろな人との付き合い、利他的な行動など）を果たす能力を判定します。

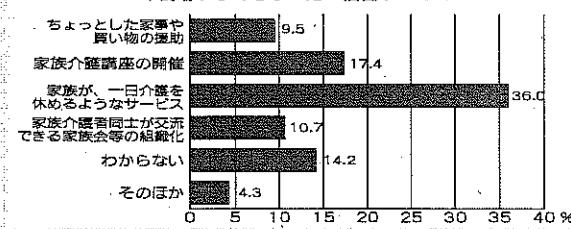
回答者を状態別（上表）に見ると、全体的に介護度が上がるほど機能低下などの割合が高くなります。「一般高齢者」と「二次予防対象者」を比較すると、「一般高齢者」では「社会的役割の低下」や「認知症のリスク」「知的能力性の低下」など「二次予防対象者」では「口腔機能の低下」や「運動機能の低下」「うつのリスク」などが高くなっています。これらの改善が求められています。

## 【調査2】

在宅の要介護3以上の人に、介護サービスや在宅福祉サービスの利用状況や介護家族の意向を調査しました。

結果は下表のとおりで、「居宅介護をしている家族が、一日介護を休めるようなサービス」が36.0%と最も多く、介護家族への支援が求められています。

今後増やしてもらいたい福祉サービス

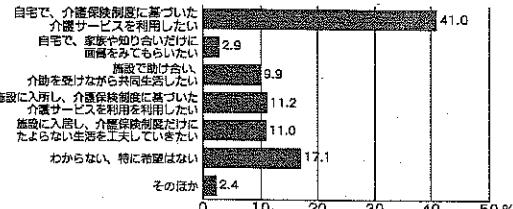


## 【調査3】

40歳から64歳までの1,985人に介護予防や将来の意向などについて、それぞれ市独自に調査しました。

結果は下表のとおり、「自宅で、介護保険制度に基づいた介護サービスを利用したい」が41.0%と最も多く、自宅での暮らしを続けたいという希望が多いことが分かります。

介護が必要になったときの望ましい暮らし方









# 市制施行10周年 記念式典開催

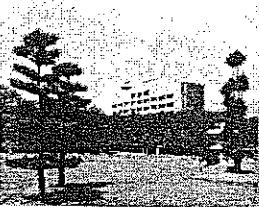
市は平成13年4月1日に市制を施行し、今年で10周年を迎えました。

さらなる飛躍と発展を期し、記念式典を開催します。当日は10年間の移り変わりを記録した記念映画の上映や、式典後には講師を迎えて記念講演も行います。

日時 23日(火) 午前9時30分~

(開場 午前9時)
場所 文化会館大ホール
対象 一般100人（申し込み順）
講演 市民参加と協働のまちづくり —地域の可能性を拓く—
講師 千葉大学 関谷昇准教授

申・問 9日(火)までに電話で秘書広報課秘書班 内線3301へ  
※車で来場する場合は下図の駐車場を利用して下さい。



★ブログラム★

(第3回 午前9時)	開場	9:00 ~
所 文化会館大ホール	映画	9:30 ~
象 一般100人（申し込み順）	式典	10:00 ~
演 市民参加と協働のまちづくり	講演	11:10 ~
一 地域の可能性を拓く	閉幕	12:10



## 次期環境基本計画の策定に関する

## 意見交換会

現行の「環境基本計画」の期間は今年度で終了します。市では次期環境基本計画の策定にあたり、意見交換会を開催しますので、皆さん参加してください。

日時・場所 下表のとおり

对象：市内在住者（自由参加）

四容 次のような環境施策（事業）に関する市の取り組みについて

- 自然環境：自然環境の保全に関すること
  - 公害：大気汚染や騒音、振動の防止などに関するこ
  - 生活環境：環境美化などに関するこ
  - 廃棄物：ごみの減量化などに関するこ
  - 環境保全：環境保全活動に関するこ
  - 地球環境：地球環境保全に関するこ

## 環境基本計画とは

環境の保全と創造に関する長期的な目標や施策を示し、総合的かつ計画的に推進するための基本的な指針を策定するもので

この計画では、市・市民・事業者がそれぞれの役割分担を果しながら、連携・協力し取り組んでいくことを基本としています。

環境課環境保全班 內線3276-7

意見交換会

日時	場所
12日(土)	午後2時～ 白井駅前センター
13日(日)	午前10時～ 西白井複合センター
	午後2時～ 桜台センター
19日(土)	午前10時～ 公民センター
	午後5時～ 白井コミュニティセンター
20日(日)	午後2時～ 富士センター

- 6 -







庄  
子  
報

発行 / 白井市 編集 / 秘書広報課 毎月2回 1日・15日発行 ☎ 270-1492・白井市復1123 ☎ 047(492) 1111 FAX 047(491) 3510 URL <http://city.shiroi.chiba.jp/>

平成24年 人口 61,899人 (-101)  
(2012年) 男 30,956人 (- 59)  
女 30,943人 (- 42)  
世帯 23,292戸 (+ 11)  
**5.1**  
※3月末日現在。  
No.704 ( )内は前回比。

主　　な　　内　　容	
■農産物の放射性物質検査結果	2
■5月は自転車安全利用月間です	3
■平成23年度下半期　市の財政事情	4
■子宫頸(けい)がん予防ワクチン	4
Hib(ヒブ)ワクチン・小児用	
肺炎球菌ワクチン接種費用助成	5
■平成24年度国民健康保険税	6

「白井市除染実施計画」に基づく除染を行います

市では「田井町除害実施計画」の策定に向け、団体の関係機関と協議を進めているところだ。市では計画を策定次第、それに基づいて市内における追加被ばく線量が年間で1-3コシーベルト未満の環境に保たれることを目指しているのである。

◆ 説明書  
除染などの措置にかかる費用についての支援を受けます。

◆さんやボランティア、事業者など連携・協力しながら推進します。  
◆住居の探し  
市民の皆さんの住居(民有地)  
についで、市が実施主体となって除染していく制度を速やかに  
にじっくり、あらためて広報など  
お伝えいたします。

平成24年度除染事業予算概要	
	予算額
保育園や幼稚園、小中学校の除染	3億3,100万円
公園や子どもの遊び場の除染	1億5,000万円
市役所や文化センター等の除染	3,700万円
道路側溝等の除染	3,600万円
戸建て住宅等の除染	1億2,400万円
除染ボランティアの派遣	12万円
空間放射線量測定調査	2,900万円
機器整備	120万円
市内農産物や学校給食、プールの放射性物質を検査	330万円
市民が持ち込む食品の放射性物質を検査	360万円
放射線対策に関する講演会	13万円
パンフレット作成等意識啓発	140万円
仮置場（市役所車庫）整備改修	5,600万円
仮置場運用	680万円
合計	7億8,150万円

いろいろな施設と併せて、安心して健やかに暮らすためのまちづくりをめざします。